

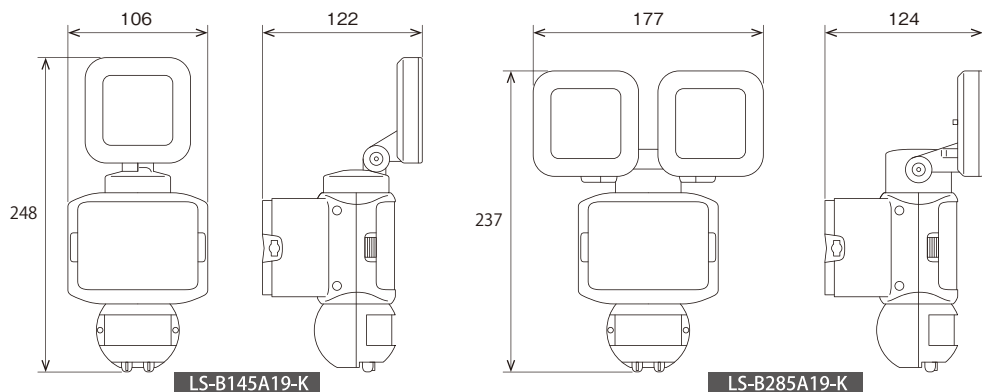
製品仕様

		型番:LS-B145A19-K		型番:LS-B285A19-K	
外形寸法		(約)幅106×高さ248×奥行122mm(本体のみ)		(約)幅177×高さ237×奥行124mm(本体のみ)	
質量		(約)320g(本体のみ)		(約)400g(本体のみ)	
全光束		(最大)400lm		(最大)800lm	
電池寿命 (1日10回点灯の場合)*		約5か月		約14か月	
		点灯時間を15秒にした場合	点灯時間を5秒にした場合	点灯時間を15秒にした場合	点灯時間を5秒にした場合
使用乾電池		単2形アルカリ乾電池×3本(別売)			
光源色		昼光色			
センサー	検知方式	焦電型赤外線センサー			
	検知範囲	取り付け高さ約2mの場合、最長約12m、最大約180°			
点灯時間		約5-15秒調節可能			
点灯切替モード		昼(周囲が明るくても暗くても点灯)			
		夜(周囲が暗いときのみ点灯)			
設置場所		屋内・屋外(防じん防まつ形IP44)			
付属品		コンクリート用スリーブ×2本、ネジ×2本、クランプ台×1個、L形ボルト×1本(ちょうナット、ボルトカバー付き) 保証書付取扱説明書(本書)			
クランプ取り付け寸法		●厚み 最小約15mm、最大約100mm			
		●パイプ径 最小約30mm、最大約85mm			

*電池寿命は乾電池の性能、使用状況により大幅に変わる場合があります。

外形寸法図

単位: mm



取扱説明書

保管用

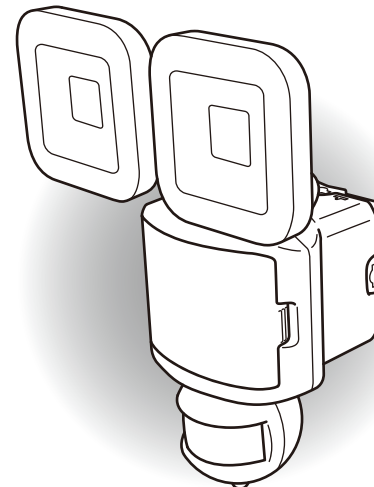
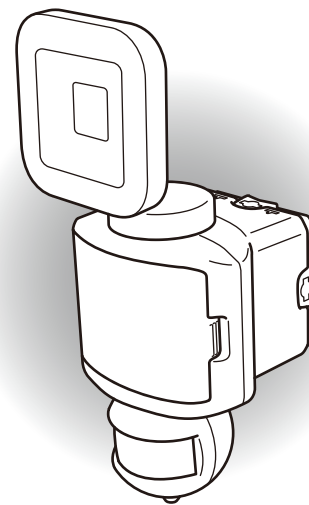
保証書付

乾電池式 LEDセンサーライト

1灯 品番:06-4238 / 型番:LS-B145A19-K **2灯** 品番:06-4239 / 型番:LS-B285A19-K

もくじ

安全上のご注意	2
各部の名称	3
電池の入れかた	3
ライト取り付け時のご注意	4
ブラケットの取り外し	4
ブラケットの取り付け	5
本体の取り付け	6
検知エリアについて	6
センサーの調節	6
故障かな?と思ったら	7
お手入れのしかた	7
製品仕様	8
外形寸法図	8
保証書	8



単2形アルカリ
乾電池(別売)
3本使用

保証書(持込修理)

商 品 名	乾電池式 LEDセンサーライト 1灯/2灯		販売店	★住所 店名 電話
型 番	LS-B145A19-K	品 番 06-4238		
	LS-B285A19-K	品 番 06-4239		
★お買い上げ日	年 月 日		印	
保 証 期 間	本体1年間(お買い上げ日から)			
お 客 様	ふりがな ★お名前			
	★ご住所 〒 -		注) ★印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。 (販売証明シール、領収書等は有効です。)	
	電話 ()		※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。	
			※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を権利を制限するものではありません。	
			※保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。	

©OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
https://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
電話受付 048-992-3970 平日9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますのでご了承ください。

この度は当製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

この取扱説明書は保証書を兼ねていますので内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

安全上のご注意


※必ずお守りください。

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

-  してはいけない「禁止」の内容です。
  必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

 必ず行う 本体の取り付けはこの取扱説明書に従い、 確実に おこなってください。	 必ず行う 乾電池の異臭、発熱、変形に気が付いたときは電池を抜き、弊社お客様相談室にご相談ください。
 必ず行う 本体は水平に、センサー部を下にして取り付ける。斜めや逆さまに取り付けると正しく検知ができないことがあります。また雨水が入り故障の原因となります。	 ぬれ手禁止 乾電池を交換する際は濡れた手で本体に触れない。また本体が濡れている場合も触れないでください。
 禁止 本体を大量の水がかかる場所に設置しない。また、水中・暴風での使用はしない。防水タイプではありません。	 禁止 布や紙など燃えやすい物の近くに取り付けず。また、布や紙などで覆って使用しない。火災の原因となります。燃えやすい物との距離を十分に確保してください。
 禁止 点灯中のライトを直視しない。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。	 分解禁止 器具を改造・分解しない。部品交換をしない。火災・感電・落下によるけがの原因となります。また、保証の対象外となります。

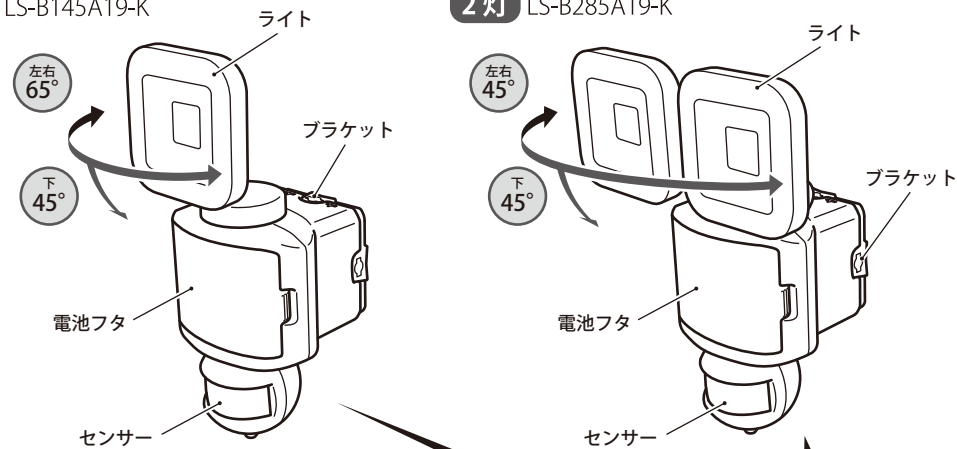
注意 傷害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 本機は人を検知した時にライトを点灯させますが、侵入・盗難を確実に阻止するものではありません。万一発生した損害につきましては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機を布団や洗濯物などのもので覆って使用しないでください。センサーが反応し続け、引火するおそれがあります。
- 気温・気圧等の気象変化によりセンサーがまれに誤作動することがありますが故障ではありません。
- 電池は正しく使用しないと液漏れ・破裂・発熱などの原因となりますので以下の取り扱いにご注意ください。
 - ・ 本機はアルカリ電池専用です。(マンガン電池や充電電池を使用すると動作不良のおそれがあります。)
 - ・ 電池は⊕の方向を正しく入れてください。
 - ・ 古い電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・ 長期間使用にならない場合は電池を取り外してください。
 - ・ 使用寿命を過ぎた乾電池を長時間電池ボックスに入れたままにしないでください。(液漏れのおそれがあります。)
 - ・ 電池は充電しないでください。
 - ・ 乾電池の異臭、発熱、変形に気づいたときは使用を中止して、弊社お客様相談室へご連絡ください。
 - ・ 電池のアルカリ液が目に入ったり皮膚や衣服に付着した場合は失明やケガのおそれがありますので、多量のきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- 電動シャッターなど電波を利用する機器の近くで使用しないでください。故障・誤作動の原因となります。
- モーターなど磁場が発生する機器の近くで使用しないでください。
- ガス機器や排気口など、温度の高くなるものの上に取り付けをしないでください。
- 落下・故障の原因となりますので必ず付属品または別売品を正しく使用してください。
- 本体のお手入れは柔らかい布で乾拭きするか、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞ってから拭いてください。
- 本体の取付ネジやクランプは半年に1~2回を目処に、ゆるみやガタつきがないか点検してください。
- ライトの明るさや光の色に違いが出る場合がありますが商品の特性上ご了承ください。
- LEDの交換はできません。
- 仕様および外観は予告なく変更する場合があります。

各部の名称





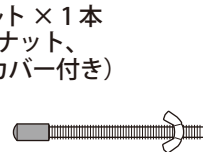
1灯 LS-B145A19-K

2灯 LS-B285A19-K

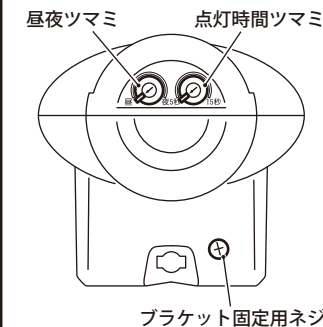


付属品

※必ずご確認ください。

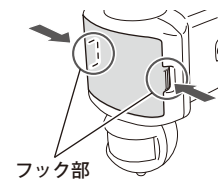
・ コンクリート用スリーブ × 2本 	・ クランプ台 × 1個 	・ 保証書付取扱説明書 (本書) 
・ ネジ × 2本 	・ L形ボルト × 1本 (ちょうナット、ボルトカバー付き) 	

《センサーライト下部》



電池の入れかた

1. 電池フタの左右のフック部を押さえ、手前に外す。



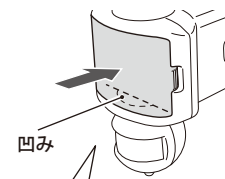
フック部

2. ⊕の向きを確認して単2形アルカリ乾電池を3本セットする。



※ 左図のように⊖側から矢印の方向に入れてください。

3. パチッと合まるようにしっかりフタをしめる。



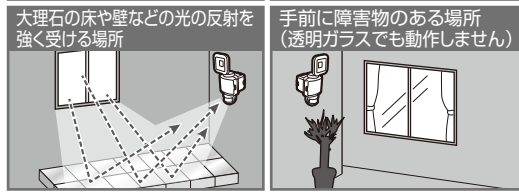
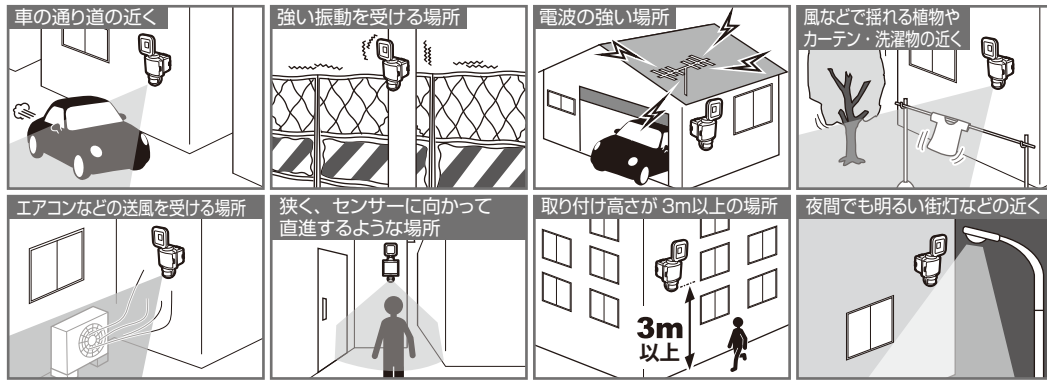
※ 電池フタには向きがあります。凹みがある方を下にしてください。

- ・ 新品で同じ銘柄のアルカリ乾電池を使用してください。
- ・ 使用済みの乾電池はお住まいの自治体の廃棄方法に従って処理してください。

ライト取り付け時のご注意

必ず付属品を使用する 落下、故障の原因になります。

取り付け注意 次のような場所に取り付けると、センサーが誤作動したり、動作しなかったりすることがあります。



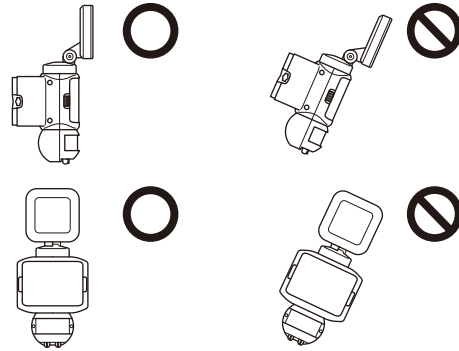
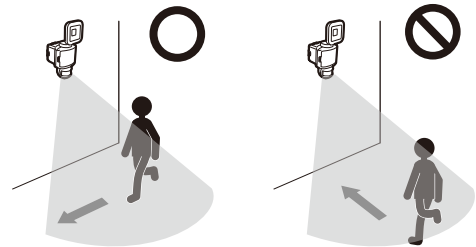
※イラストは1灯タイプのイメージ図です。

本体が正しい位置に取り付けられているか確認する。

- ・正面から見て地面と水平になるように取り付ける。
- ・前後左右に傾いているとセンサーが誤作動する原因になります。
- ・内部に雨水が入り故障の原因になります。

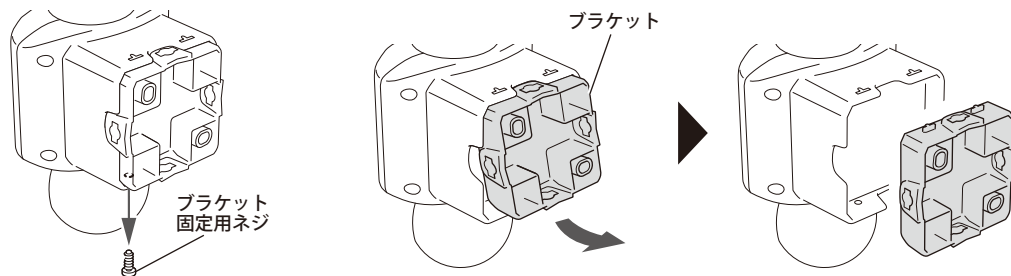
本体に対して人が横切るときの場所に 取り付けず。

- ・本体に向かって直進すると、センサーの特性上検知しないことがあります。



ブラケットの取り外し

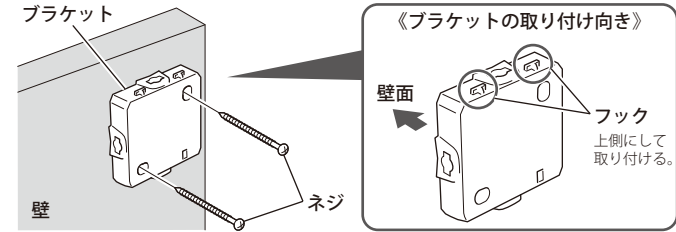
1. ブラケット固定用ネジを外す。
2. ブラケット下部を手前に引き本体から取り外す。



ブラケットの取り付け

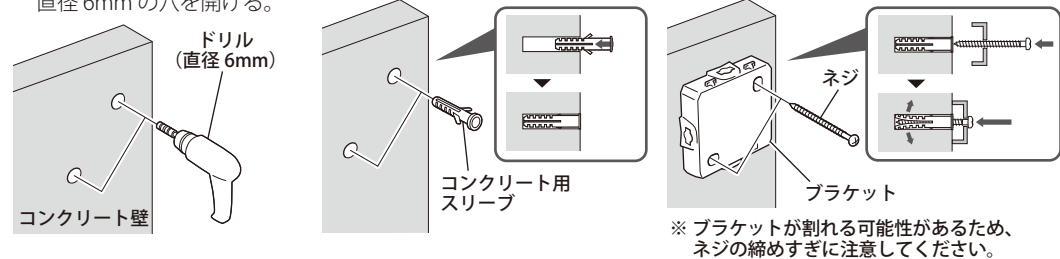
木壁やモルタル壁などへの取り付け

1. 図のように付属のネジ2本でブラケットを固定する。
- ※ ブラケットが割れる可能性があるため、ネジの締めすぎに注意してください。



コンクリート壁への取り付け

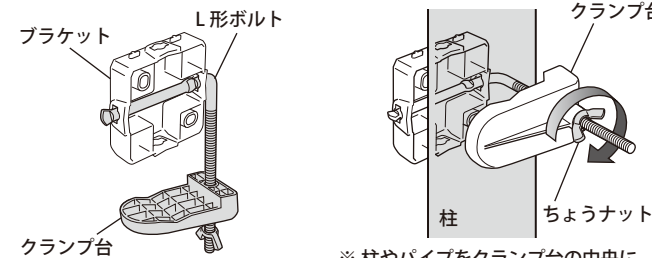
1. あらかじめ取り付ける位置に印をつけ、ドリルで直径6mmの穴を開ける。
2. 付属のコンクリート用スリーブを穴に打ち込む。
3. 付属のネジ2本でブラケットを固定する。



※ ブラケットが割れる可能性があるため、ネジの締めすぎに注意してください。

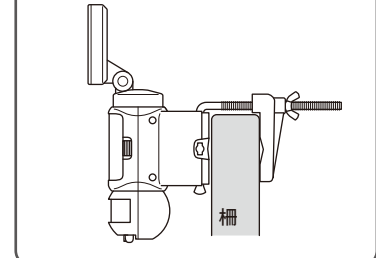
付属のクランプ台とL形ボルトによる取り付け

1. L形ボルトにクランプ台を通し、図のようにブラケットに差し込む。
2. 取り付けたい柱をブラケットとクランプ台で挟み、ちょうナットを締めて固定する。



※ 柱やパイプをクランプ台の中央に挟んでください。

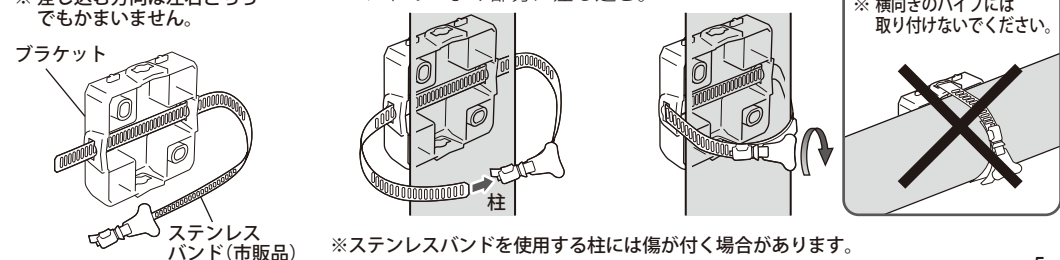
《手すりや柵の上部に取り付けるとき》



※イラストは1灯タイプのイメージ図です。

市販のステンレスバンド(幅10mm)による取り付け

1. ステンレスバンド(幅10mm)をブラケットに差し込む。
2. 取り付けたい柱にステンレスバンドを巻き付け、ステンレスバンドのつまみ部分を締める。
3. ステンレスバンドのつまみを回してステンレスバンドを締める。



※ 横向きのパイプには取り付けないでください。

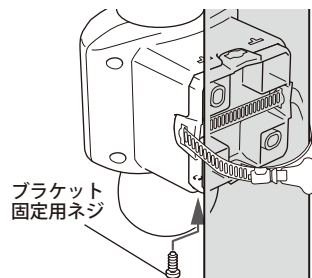
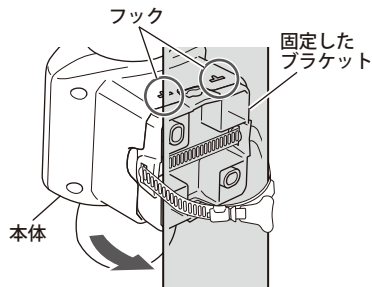
※ ステンレスバンドを使用する柱には傷が付く場合があります。

本体の取り付け

※ イラストはステンレスバンドによる取り付け時のイメージ図です。

1. 固定したブラケット上部のフックに本体を差し込み、矢印の方向にはめ込む。

2. ブラケット固定用ネジで本体とブラケットを固定します。

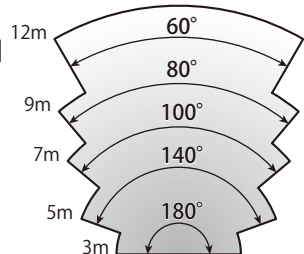


検知エリアについて

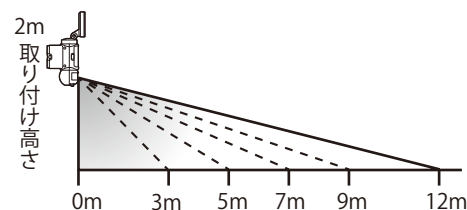
検知エリア 高度:約2m 検知距離:最長約12m 検知範囲:最大約180°

※下記は取り付け高さが2mの場合です。※取り付け高さを半分にすると、検知エリアは図の半分になります。

【検知エリアを上からみた図】



【検知エリアを横からみた図】



⚠ 検知エリアに関するご注意

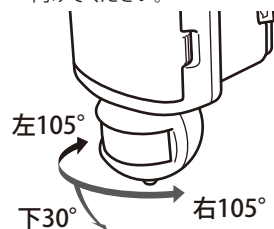
- 本機の取り付け高さは2.0~2.5mが最適です。3m以上の高さに取り付けしないでください。
- 検知エリアは目安です。気温・服装・移動速度・侵入方向・体温・器具の取り付け高さなどにより大きく変動します。
- センサーは検知エリア内の温度変化を検知しますので人以外の動物や車などが移動した場合も検知します。
- 夏場の周囲の温度が高く、人の体温との差が小さいとき検知しない場合があります。
- 検知エリア外でも人より大きい熱源(車など)が移動したとき検知する場合があります。
- センサーライトの真下は検知できない場合があります。
- 乾電池を入れた後、初期動作が安定するまで、最大約40秒のウォーミングアップ時間があります。安定するまで、検知範囲に入らないでください。

センサーの調節

- ・調節するときは、周囲が実際に点灯させたい時の明るさになっている状態でおこなってください。
- ・調節後は、センサーの検知内に入り点灯させ、すぐに検知範囲外へ出て消灯の確認をしてください。

センサー左右角度調節

検知したい方向にセンサーを向けてください。



昼夜ツマミ

周りの明るさに合わせてセンサーの感度を調節できます。



- 「昼」: 周囲の明るさに関係なく、センサーが検知すると点灯します。
- 「夜」: 暗い所でセンサーが検知すると点灯します。
- ※夜でも他の照明の光が当たるときは「昼」側に調節してください。

点灯時間ツマミ

点灯時間を「5秒」から「15秒」の間に調節できます。



- ※ツマミの角度は時間と比例しません。
- ※点灯中に再検知した場合、点灯時間が延長されます。
- ※人がいなくなると設定時間後に消灯します。

故障かな?と思ったら

こんなときは?	考えられる原因	処置
ライトが点灯しない	・電池の接続方向が間違っている	電池の⊕⊖を正しくセットしてください。(P.3)
	・乾電池の電圧が低下している(電池寿命)	新しい電池に交換してください。(P.3)
	・検知エリアの設定が適切でない	取り付け位置を変更するか、検知エリアの調節をやり直してください。(P.4, P.6)
	・センサー部に向かって直進している	本機に向かって直進した場合、検知が鈍くなります。(P.4)
	・センサーが汚れている	検知部(センサー)を柔らかい布で傷が付かないように拭き取ってください。
ライトが点灯したまま消灯しない	・センサーに蒸気や雨などの水滴が付いている ・寒いときや雨降りときに人がマフラーや傘などで覆われている ・夏場に周囲の温度が高く、人の体温との差が小さい ・非常にゆっくりした速度で検知エリアを移動した	センサーは検知エリア内の温度変化を検知するため、左記の場合は検知しづらことがあります。
	・検知エリアが遮られている	センサーの前に壁やガラスがあると検知できません。取り付け位置を変更するか、検知エリアの調節をやり直してください。(P.4, P.6)
点灯回数が少なくなった	・乾電池の電圧が低下している(電池寿命)	新しい電池に交換してください。(P.3)

お手入れのしかた

センサーライトは中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないようによく拭き取ってください。

シンナー・ベンジン・磨き粉・アルカリ性洗剤・化学ぞうきんは変色や傷の原因となるため、使わないでください。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
 - (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります)
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 **This warranty is valid only in Japan.**
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。